

公社等外郭団体の改革方針（案）

団体名	(社福)千葉県身体障害者福祉事業団		所管所属名	健康福祉部障害福祉課	
事業内容	<p>千葉県と密接な連携を保ちつつ、県社会福祉事業の推進を図り、広く県民福祉の向上と増進に寄与すること目的として社会福祉事業を行う。</p> <p>肢体不自由児施設（愛育園）重症心身障害児施設（陽育園）障害者支援施設（更生園）リハビリ医療施設、千葉県身体障害者療護施設（鶴舞荘）の管理運営を行う。</p>				
財務状況	年度（単位：千円）		H18	H19	H20
	貸借対照表	総資産	2,302,778	2,429,948	2,479,757
		負債	2,256,741	2,387,144	2,398,495
		資本	46,037	42,804	83,262
		累積損益	36,037	32,804	73,262
	損益計算書	総収入	4,652,967	4,690,943	4,849,457
		経常損益	3,247	3,233	40,458
		当期損益	3,247	3,233	40,458
		減価償却前当期損益	4,973	1,482	41,758
		借入金残高	0	0	0
	県財政支出	委託料	1,689,512	1,657,957	1,628,909
		補助金・負担金	0	0	0
その他		0	0	0	
県関与の必要性 団体の必要性	<p>（団体の必要性）</p> <p>千葉県身体障害者福祉事業団については、平成18年度より千葉県千葉リハビリテーションセンターの指定管理者として、他のリハビリテーション病院では受け入れられない専門性の高い医療分野を担うとともに、医療的ケアを含めた特殊性・専門性の高い福祉サービスを提供しており、今後もそのノウハウをいかした千葉リハビリテーションセンターの運営存続のためにも必要な団体である。</p>				
	<p>（県関与（人的・財政的）の必要性）</p> <p>平成21年4月1日現在で、県から20名が職員として派遣されているが、うち事務職は事務局長の1名だけで、残りはほとんどが医師であり、県の関与が廃止または縮小された場合、社会的に採用困難である医師の確保が困難となり、病院自体の運営に大きな影響が生じることが予想される。</p>				
過去の見直し方針	分類	経営改善			
	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度に県立施設のあり方検討会を立ち上げ、障害者自立支援法下の県立施設の役割、サービス内容等について検討していく。 指定管理期間（5年間）終了後の再募集に向け民間法人と競争できるだけの財務体質の強化を図る。 				

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現在までの取組状況</p>	<p>1 県立施設のあり方検討会では、検討状況報告書を取りまとめて、第4次千葉県障害者計画に反映させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉リハビリテーションセンターについては、医療と福祉の複合施設として特殊性、専門性の高い分野を担っていることから、現在の運営内容を継続することとしている。 ・ その中で、肢体不自由者更生施設「更生園」については、障害者自立支援法に基づく新体系へと移行した。 ・ 千葉県身体障害者療護施設「鶴舞荘」については、次期指定管理に向けて民間委譲などを含めて適切なあり方を検討すべきである、と位置づけたが、平成22年度で県立施設としては廃止し、他の社会福祉法人が開設する新施設にその機能を引き継ぐこととなった。 <p>2 人件費の圧縮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年7月から新給与制度を導入した。 ・ 激変緩和を図るため経過措置を設けていたが、平成20年度末で経過措置は終了した。(20年度は経過措置として引下額の25%補填) 								
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">役職員の状況</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 常勤役員 14 3名 21 3名 </td> <td style="width: 50%;"> 常勤職員 14 388名 21 351名 </td> </tr> <tr> <td> うち県OB 14 1名 21 2名 </td> <td> うち県OB 14 0名 21 0名 </td> </tr> <tr> <td> うち県派遣 14 2名 21 1名 </td> <td> うち県派遣 14 39名 21 20名 </td> </tr> </table>	常勤役員 14 3名 21 3名	常勤職員 14 388名 21 351名	うち県OB 14 1名 21 2名	うち県OB 14 0名 21 0名	うち県派遣 14 2名 21 1名	うち県派遣 14 39名 21 20名		
常勤役員 14 3名 21 3名	常勤職員 14 388名 21 351名								
うち県OB 14 1名 21 2名	うち県OB 14 0名 21 0名								
うち県派遣 14 2名 21 1名	うち県派遣 14 39名 21 20名								
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立施設としての千葉リハビリテーションセンターの今後の役割等について検討し、平成22年前半を目途に県は「千葉県千葉リハビリテーションセンター改革プラン(仮称)」を作成する予定であるが、併せて事業団としてのあり方も検討していく必要がある。 ・ 平成23年度からの県立千葉リハビリテーションセンターの指定管理に向けて、更に運営の効率化と質の高い医療及び福祉サービスの提供が必要である。 								
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の改革方針(案)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th>経営改善</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>千葉県身体障害者療護施設「鶴舞荘」については、平成22年度末をもって県立施設としては廃止し、他の社会福祉法人が開設する新施設にその機能を引き継ぐこととする。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平成22年前半を目途に県が作成する「千葉県千葉リハビリテーションセンター改革プラン(仮称)」を踏まえ、今後果たすべき役目と経営効率化等の実現に向けて事業団としての体制づくりについて検討する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平成23年度からの次期指定管理に向けて、今年度中に受審する「病院機能評価」等を参考に更なる事業運営の効率化と医療及び福祉サービスの向上を図る。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	経営改善	1	千葉県身体障害者療護施設「鶴舞荘」については、平成22年度末をもって県立施設としては廃止し、他の社会福祉法人が開設する新施設にその機能を引き継ぐこととする。	2	平成22年前半を目途に県が作成する「千葉県千葉リハビリテーションセンター改革プラン(仮称)」を踏まえ、今後果たすべき役目と経営効率化等の実現に向けて事業団としての体制づくりについて検討する。	3	平成23年度からの次期指定管理に向けて、今年度中に受審する「病院機能評価」等を参考に更なる事業運営の効率化と医療及び福祉サービスの向上を図る。
分類	経営改善								
1	千葉県身体障害者療護施設「鶴舞荘」については、平成22年度末をもって県立施設としては廃止し、他の社会福祉法人が開設する新施設にその機能を引き継ぐこととする。								
2	平成22年前半を目途に県が作成する「千葉県千葉リハビリテーションセンター改革プラン(仮称)」を踏まえ、今後果たすべき役目と経営効率化等の実現に向けて事業団としての体制づくりについて検討する。								
3	平成23年度からの次期指定管理に向けて、今年度中に受審する「病院機能評価」等を参考に更なる事業運営の効率化と医療及び福祉サービスの向上を図る。								